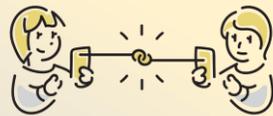


えがお便

～はがきでつながる・思いがつながる～



井原地区社会福祉協議会では、一人暮らしの高齢者19名の方へ、毎月往復はがきをお届けし返信はがきで体調や心配事などの近況を伝えてもらう「えがお便」による見守りの取り組みを平成26年2月から行っています。

白木地域包括支援センターでは、広島市から受託している「高齢者支え合い事業」の一貫で、この取り組みに携わっています。

地区社会福祉協議会

往復はがき

地区社会福祉協議会、民生委員、福祉委員町内会、自治会、郵便局の連携によって実施されています。

返信はがき
(体調・不安に思っていること)

1人暮らしの高齢者



民生委員

コロナ禍によって、訪問が難しい時もえがお便の返信はがきに目を通し、1人暮らしの高齢者の体調や安否確認の判断材料になりました。



社会福祉協議会

コロナ禍で直接会いに行けなくても思いを届けられるこの取り組みに地域の共感とあたたかなつながりが広がっています。

「はがきの内容」

- ・詐欺など注意の呼びかけ
- ・役員や社会福祉協議会関係者からのお便り
- ・小学校の夏休みなどには、こどもたちが描いた季節感あふれる絵はがき

郵便局



各家庭にはがきを手渡しで届けています。同時に先月分の返信はがきをその場で回収する取り組みを行っています。

そのため、ポストまで歩いて行くことのできない方でもえがお便を継続することができています。



往復はがきの「えがお便」

～はがきで届ける“ぬくもり”と“つながり”～

安佐北区白木町
井原地区社会福祉協議会

